

ロタウイルス胃腸炎

愛媛医療生協

ロタウイルスに感染することによって起こる急性胃腸炎です。乳幼児は、激しい症状が出ることも多く、特に初めて感染したときに症状が強く出ます。5歳頃までにはほぼすべての子どもがかかるといわれる病気です。2011年7月からワクチンが任意接種となり、ロタウイルス感染症による入院症例は減少していますが、感染力が強く、急性胃腸炎の入院患者の40%前後はロタウイルスが原因です。便などを介した後始末する時に手などに付着し感染するため注意が必要です。

【好発時期】 3～4月

【潜伏期間】 24～48時間

【感染経路】 主に接触感染による人から人への糞口感染

【感染期間】 3日程度 ウイルスの排出は1週間以上続きます。

手指や器物の表面で数時間～数日間感染力を保持しています。

【症 状】

別名「冬季下痢症」「乳児白色下痢症」がつく程の激しい下痢が特徴で水様の下痢が繰り返し起こります。下痢は3～4日間は激しく、1日5回程～15回程と多く、米のとぎ汁のような水様便が出ることもあります。嘔吐や発熱、軽い咳や鼻水などの風邪症状も伴うこともあります。

【診 断】 便で検査します。

【治 療】

抗ウイルス薬などの特異的な治療法はありません。

治療看護のポイントは、嘔吐と下痢の量が非常に多いため経口補水液の摂取や輸液療法により脱水症状を防ぐことです。また、乳児では二次的に母乳やミルク中の乳糖の消化が悪くなることが多いので、乳製品をやめ乳糖を含まないミルクを与えることがあります。その他にけいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあります。

【観察のポイント】

- ① 脱水の程度：グッタリしている、涙が出ない、体重減少や尿量減少、皮膚の張りが無い、
- ② 嘔吐の状態：吐物の性状、回数、量
- ③ 排便の状態：性状、回数、量、便の色、臭い
- ④ 経口摂取量：食べ物の種類と量
- ⑤ 発熱の有無

泣き方が弱くあやしても笑わない、ウトウト眠りがち、全く飲もうとせず尿の回数や量が少ないなどの症状があるときは、点滴等の処置が必要ですから、病院へ連絡してください。

【嘔吐下痢症の栄養法】

A. 嘔吐・下痢が頻回な時期

水分・電解質の多いものを少量ずつ(20~30ml)を頻回に(20~30分毎)に与えます。

[飲ませるもの] 乳幼児用イオン飲料や経口補水液、野菜スープ、
うす味の味噌汁、リンゴジュース(すりリンゴは×)

[避けたいもの] オレンジジュースやトマトジュース
(下痢を悪化させる可能性があるため)

母乳の場合は1回の授乳は10分程度とし、1~2時間毎に与えます。

B. 嘔吐がおさまって下痢が続いている時期

[食べさせるもの]

- ①乳児の場合:2/3~3/4にうすめた希釈乳
- ②離乳食の場合:軟らかく水分を多めにした食品
- ③幼児の場合:消化のよいもの

例) うどんのクタクタ煮、つぶし粥、おじやなど

[避けたいもの]

- ①繊維の多い野菜、バナナ、海藻類
- ②脂肪の多いもの(天ぷら、中華料理、脂の多い肉や魚 etc)
- ③発酵しやすいもの(栗やさつま芋、果物、砂糖が多い食品 etc)
- ④消化しにくいもの(イカやタコ、貝類、ラーメン etc)

C. 食欲と元気が出てきた時期(黄色便3回/日程度、軟膏状便)

- ①1週間程かけて元の食事に戻していきます
- ②下痢が悪化したら食事内容を少し戻します。(1~2日は様子見)

【清潔】

入浴は元気があればかまいません。排便後は、殿部を洗い乾燥させ、ただれないように気をつけましょう。(保湿フォームやワセリンなどで保護)オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

【消毒法】

アルコールはあまり効き目がなく、塩素系洗剤を使用します。
吐物や便は500mlのペットボトルにキャップ2杯分の塩素系洗剤を使用し汚物が広がらないよう片付けポリ袋に入れて捨てます。衣類が汚れたときや掃除は500mlのペットボトルにキャップ1/2杯分の塩素系洗剤を使用します。汚染されたりネン類は30分つけおき消毒した後、しっかり洗い流し他の衣類と分けて洗濯します。(2020.05.26)